

図書館へ行こう

おすすめの新着本

Let's enjoy Reading 

鶴田中央公民館図書室



ヒトコブラクダ層ぜっと

著 / 万城目学
幻冬舎

大金を手にした泥棒の三つ子。ライオンを連れた謎の女が現れ、運命は急転する。アクションあり神話ありのエンターテインメント。



婿どの相逢席

著 / 西條 奈加
幻冬舎

小さな楊枝屋の鈴之助は、大店の仕出屋へ婿入りし、逆玉婚のはずだったが…。くすくす笑えて、ほろりと泣ける感動の夫婦奮闘記。

屋地楽習館図書室

ターシャ・テューダー 人生の楽しみ方

著 / 食野 雅子
海竜社



最終飛行

著 / 佐藤 賢一
文藝春秋



こども図書館～えほんの森～

保存版 防災ハンドメイド 100均グッズで作れちゃう!

著 / 辻 直美
KADOKAWA



おもわず おもわず

作 / えがしら みちこ
あかね書房



人物探訪 54

ときよし まんじろう
時吉 萬次郎

(1836~1914)



時吉萬次郎氏は、天保7年に宮之城屋地村に生まれました。時吉家は都城で浄土真宗(一向宗)の教えを説く番役という家柄でしたが、薩摩藩の弾圧により、宮之城に強制移住させられました。

時吉氏は19歳の時、獣医の勉強に励みながら浄土真宗門徒として修行を積みました。2年後には獣医をしつつ、念仏講を指導。しかし、藩の監視が厳しく30歳の時に捕まりそうになりました。このときは、本尊を抱いて宮之城屋地にある雨ヶヶ石付近の岩屋に隠れて難を逃れましたが、妻や弟は身代わりに拷問を受け、命を落としました。

時吉氏は迫害を受けながらも、浄土真宗の教義の勉強や門徒からの冥加金の持参のため、京都本願寺に8回も参詣しました。これは、宮之城や鶴田、求名などの三千戸の門徒の支援で実現したとされており、隠れて信仰していた信徒がいかに多かったのかを示しています。

明治29年、浄土真宗の開教使である野崎流天が宮之城に信教寺を開く際には、時吉氏の協力のもと創建したとされています。「仏の萬次郎はん」と呼ばれ親しまれていた時吉氏でしたが、大正3年7月、77歳でその生涯に幕を閉じました。墓は北薩一円の門徒により東谷墓地に建立されました。

昭和61年、信教寺では、深い信仰心に命を懸けた時吉氏の活躍を称えて「かくれ念仏」顕彰萬次郎150周年記念の会」を開催。追悼供養や講演が行われ、遺品や終野仏飯講の資料が展示されました。

もしトラブルにあったら!? 中学生が電話相談を体験

知ってトクする!
第88回
消費生活講座

宮之城中学校の2年生が家庭科の授業で消費者トラブルについて学び、相談の仕方を体験しました。

中学生の消費者トラブル

一番多いのはデジタルコンテンツのトラブル。相談件数の約70%を占め、そのうちアダルトサイトが約41%、オンラインゲームが約34%です。(平成29年度消費者白書)

電話相談を体験

スマホなどで無料のゲームや動画を観たら「サイト利用料が未払いです。連絡がない場合、法的措置をとります」というメールが届いた…



上記の架空請求のシナリオをもとに、生徒が消費生活相談窓口で電話をかけ、アドバイスをもらったり、質問をしたりして模擬相談をしました。

生徒の感想

- 消費生活でトラブルが起こった場合は、1人で抱え込まず、消費生活センターの人に相談することが大切だと思った。
- 怪しい支払いメールが来てもお金を払わずに、まずは親や消費生活相談員に話し合っって対応することを今後の生活に活かしたい。

模擬相談を通して、消費者トラブルの注意点と対応について、みんなで考え、学ぶことができました。困ったときは身近な相談窓口にお電話くださいね!

相談窓口 (相談無料・秘密厳守)
商工観光PR課 商工振興係
☎53-1111 (内線2286)

土日の相談は消費者ホットライン
☎188 泣き寝入りはいややへ



がんばらない読書
1日5分から
始めてみよう!

コロナ禍で増えた「おうち時間」に本を広げてみませんか? おすすめは、数分で1節を読める短編集やエッセイ集、詩集などです。美しい風景と心に響く名言を集めた写真集や、1日1ページずつ読む本も気軽に楽しめます。少しずつ読書の時間を増やせば良い習慣になりますよ!

1日1ページ、
365日で世界一周

監修 / 井田 仁康
成美堂出版

眺めるだけで旅気分! 世界各地の文化や産業、自然、民族、食などの情報を写真やイラストで紹介しています。



心に響いた、この一冊



盈進小学校5年
上野 咲羽さん

『えんとつ町のプペル』

著 / にしの あきひろ
幻冬舎

プペルの「ホシをみにいこう」というセリフが心に響きました。物語は、煙で覆われたえんとつ町で配達屋さんが咳き込み、配達中の心臓を落とす場面から始まります。そしてゴミ人間プペルが誕生します。プペルは少年ルビッチと「ホシ」を見る約束をしますが、町は煙に覆われてホシが見えないのです。果たして2人はホシを見ることが出来るのでしょうか。とても絵がきれいで、驚きの結末が待っているのでぜひ読んでください。



▶ こども図書館～えほんの森～ ☎ 57-1202 ▶ 屋地楽習館図書室 ☎ 53-1994 ▶ 鶴田中央公民館図書室 ☎ 53-1111 (内線4412)
▶ 休館日 【9月】 1日~12日(臨時休館)、13日、19日、27日 【10月】 4日、11日、17日、25日